

第1章 総 則

本地区の工事仕様は、広島県「土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）および「施設機械工事等共通仕様書」（以下「共通仕様書（施）」という。）に基づいて実施するほか、本特別仕様書によるものとする。

建設工事請負契約約款及び特約事項は三次市に準規する。

施工方法、品質管理については、「ゴム引布製起伏堰点検・整備要領(案)」に準拠するものとする。

第2章 工事内容

1. 工事概要

本工事の施工範囲は以下のとおりとする。

工 種	細 別	数 量	施 工 内 容	摘 要
既設起伏堰	ゴム袋体	1 門	補修	
仮設工		1 式	単管傾斜足場・水替え (水中ポンプ) 等	

2. 施工範囲

工事の施工範囲は、工事概要に示すゴム袋体の損傷を補修する工事を受注者が責任をもって施工するものとする。

3. 第三者に対する措置

1) 保安対策

本工事における交通誘導員は計上していないが、現地の交通状況等により必用な場合は、監督職員と協議するものとする。この場合は、契約変更の対象とする。

2) その他

既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任で処理するものとする。

4. 提出図書等

1) 提出図書

共通仕様書（施）第1章に示す提出図書は、A4版の装丁とし、監督職員が指定する日までに2部（承諾後の返却分を含む）を作成し監督職員に提出するものとする。

- ① 施工計画書
- ② 承諾図書
- ③ 完成図書

なお、完成図書及び施工図の内容，編集等については監督職員と打合せのうえ作成するものとする。また，提出書類に変更が生じた場合はその都度変更書類を提出するものとする。

2) 官公庁等への手続き等

本工事に対し必要な官公庁等への申請書類は全て受注者が作成し，これに要する費用は受注者の負担とする。

5. 工事用電力

据付工事に使用する電力設備及び電力料金は受注者の負担とする。

6. 試運転調整

本工事の試運転調整に要する電力料金は受注者の負担とする。

7. 準拠規定

工事の実施に当たっては，本仕様書によるほか，下記の関連法規等に準拠するものとする。

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| 1) 河川管理施設等構造令・同施工規則 | 国土交通省 |
| 2) 土地改良事業計画設計基準・設計「頭首工」 | 農林水産省 |
| 3) 鋼構造物計画設計技術指針「水門扉編」 | 農林水産省 |
| 4) ゴム引布製起伏堰施設技術指針 | 農林水産省 |
| 5) ダム・堰施設技術基準（案） | ダム・堰施設技術協会 |
| 6) ゴム袋体をゲート又は起伏装置に用いる堰のゴム袋体に関する基準（案） | 国土交通省 |
| 7) 施設機械工事等施工管理基準 | 農林水産省 |
| 8) 日本工業規格（JIS） | 日本工業規格 |
| 9) その他関係諸規格基準等 | |

第3章 施 工

受注者は設計変更が生じ、契約変更に必要な測量・設計図書の作成を監督職員から指示された場合には、それに応ずるものとする。

なお、その経費については別途協議するものとする。

1. 使用材料

本工事で補修時に使用する主要材料は、共通仕様書（施）第2章によるものとし、特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

- ・凹部穴埋め材（常温硬化型ゴム材）
損傷部に埋め込むことで損傷面を平滑にし、保護材の接着に寄与する。
- ・補修材（パッチ材）（黒ゴム付き帆布材）
厚み $t=4.4\text{mm}$
- ・クッションゴム（常温加硫ゴムシート）
パッチ材と補修面の間に貼付け、密着性を上げる。
 $t=0.6 \times W400$
- ・常温加硫接着剤
- ・外面修理材（トップキュア）
貫通部のエア漏れ止めとして適用。
- ・塗布反（黒ゴム付帆布材（めくれ防止目的））
補修材貼付け後、上流側端部にめくれ防止として貼り付ける。
厚み $t=\text{約 } 2.2\text{mm}$

2. 施工手順

本工事の施工手順は以下のとおりとする。

- ①（貫通部）ゴム袋体本体部バフ掛け～外面修理材埋込み
- ②（凸凹部）ゴム袋体本体部バフ掛け～常温硬化型ゴム材埋込み
- ③（補修部）ゴム袋体本体部バフ掛け～常温加硫接着剤塗布（1回目）
- ④ 補修材料の加工（カット、バフ掛け、常温加硫接着剤塗布（1回目））
- ⑤ 完全乾燥後、補修材への常温加硫接着剤塗布（2回目）、クッションゴムへの常温加硫接着剤塗布（1回目）
- ⑥ クッションゴムの補修材への貼付け：常温加硫接着剤が爪に付着しない程度まで乾燥させた後に貼り付ける。貼付け後はハンドローラー等を用いて十分に圧着する。
- ⑦ ゴム袋体本体への常温加硫接着剤塗布（2回目）、補修材（クッションゴム面）への常温加硫接着剤塗布（1回目）

- ⑧ 補修材のゴム袋体本体への貼付け：常温加硫接着剤が爪に付着しない程度まで乾燥させた後にハンドローラー等を用いて十分に圧着する。
- ⑨ ゴム袋体本体部の補修材貼付け部上流側バフ掛け～常温加硫接着剤塗布（１回目）
- ⑩ 塗布反の加工（カット、バフ掛け、常温加硫接着剤塗布（１回目））
- ⑪ 完全乾燥後、ゴム袋体本体部の補修材貼付け部上流側への常温加硫接着剤塗布（２回目）、塗布反への常温加硫接着剤塗布（２回目）
- ⑫ 塗布反の貼付け：常温加硫接着剤が爪に付着しない程度まで乾燥させた後に貼り付ける。貼付け後はハンドローラー等を用いて十分に圧着する。
- ⑬ 養生：常温加硫接着剤は硬化に時間を要するため、貼付け後の約 24 時間は急激な気圧変動等、ゴム袋体に変形が生じないようにする。

3. 安全対策

施工時には以下のとおり安全管理等を徹底する。

- ・材料加工時、接着作業時の保護メガネ・マスクの着用
- ・バフ粉の飛散防止

第４章 試験及び検査

本工事の段階確認は監督職員と協議するものとする。

第５章 定めなき事項

- 1) 契約書、設計図書及び本仕様書に示されていない事項であっても構造，機能上当然必要と認められる軽微な事項については受注者の負担で処理するものとする。
- 2) この仕様書に定めない事項又はこの工事の施工に当たり疑義が生じた場合は，必要に応じて監督職員と協議するものとする。

第６章 週休２日制工事

本工事は週休２日制工事（受注者希望型）であり，「三次市週休２日制工事実施要領」に基づき実施すること。